

10月28日(木)

釧路湿原自然再生協議会 第10回森林再生小委員会の開催

10月28日(木)、釧路湿原自然再生協議会（以下「協議会」）第10回森林再生小委員会が開催されました。森林再生小委員会は協議会の下に設置された6つの小委員会の一つで、森林の再生に関する実施計画とその実施状況、モニタリング結果等を検討します。

当日は個人委員7名、団体委員11機関及び関係行政機関が参加し、雷別地区自然再生事業及び環境省の達古武地域自然再生事業について説明の後、意見交換を行いました。

当センターからは平成12年にトドマツ人工林が気象害に遭い、立ち枯れが発生し無立木地となった森林を再生するため、地表処理や植栽等現在実施している事業について報告を行いました。その後の釧路湿原自然再生全体構想が策定されて5年目を迎えた施策の点検についての議事の中では、活発な意見や貴重なご指導をいただきました。

（自然再生指導官 林）



森林再生に取り組む雷別地区国有林



活発な意見が交わされた委員会



雷別地区自然再生事業について説明（当センター）



達古武地区自然再生事業について説明（環境省）